

整 理 No.		2015-12		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所							
災害発生日時		2014年7月 17日(木)		14時30分		天気 (曇り)	
災害区分		不休災害				休業災害 (休業見込み日数: 日)	
被災者	部門	生産・技術・営業・管理(事務)		雇用形態	正社員・派遣契約・その他()		
	年齢	26歳	性別: 男 女	勤続年数	10ヶ月	経験年数	10ヶ月
	傷病名	病名 (打撲及び捻挫) 部位(右ひじ及び左足首)					
	傷病部位	右ひじ 強打による打撲、 左足首 捻挫					
災害発生状況	①、充填作業の終盤にフレキシブルホース・ポンプ内の残塗料を抜く作業をする際、落差を利用する為ホースを持って、タンク横の階段を上っていた。		状況概略(写真orイラスト)		怪我の状態、証言から落下した時、肘、足が同時についたと想定される		
	②階段から降りようと体の向きを変えた時に、足がすべり階段最上段(2m)より落下し、右ひじを階段に、左足を床に強打した。(咄嗟の事で右ひじを何段目にぶつけたかは不明)						
	②充填していた製品に使用していたポンプスクリューポンプを使用し吸い込み力が通常のもの(ギャポンプ)より弱く、経年による劣化も定常外作業の原因でも有るが、危険な方法で抜きで取り作業を実施してしまった						
	災害の型 ^{※1)} : 1		作業の形態: 定常 非定常、その他()				
起因物 : 階段		特記事項:					
原因	1、人的要因(man): 定常的に落差を利用したホースから残塗料抜きを行っており、不安全作業と認識していなかった。 過去や他部署の落下事故例に対して、再発防止の安全指示を理解していなかった						
	2、物に関する要因(machine): 経年劣化でポンプの吸引力が低下しており、高低差を利用しなければ残塗料を抜けなかった 階段の幅が狭く足元が見難く、滑り止めの工夫がなされていない階段であった						
	3、環境要因(media): 静電気防止の散水が靴底に付き、よりすべり易い状況であった						
	4、管理的要因(manegement): フレキホース内残塗料の抜き取り手順が整備されていなかった						
対策	1、充填終了時の作業について、フレキホース内塗料の処理手順を追加し改訂する、(絞りきれない塗料は廃棄処分)(1-2,1-5)						
	2、階段最上部を、全面滑り止め加工を施す(1-4,2-4)						
	3、液系工場にある、急な階段の手すりを、黄色に塗り替え安全意識の喚起(1-4,2-4)						
	4、充填作業員に対し、改訂手順に基づく作業ルールの指導と、安全再教育を実施する(1-6)						
対策分類 ^{※2)} : 1-2、1-4、1-5、1-6、2-4							
備考	類似箇所の摘出: 同様な階段は、同工場内のBM・仕込み工程にも有り、フレキホース脱着作業の見直し また、同充填設備は他工場にも設置されており、状況確認と上記対応の横展開実施						